

# ランサムウェア被害防止対策

## ランサムウェアとは

ランサムウェアとは、感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復元する対価として金銭を要求する不正なプログラムです。

また、データの暗号化のみならず、データを窃取した上、企業等に対し「対価を支払わなければ当該データを公開する」などと金銭を要求する手口も確認されています。

## 感染を防止するために

### ◆ OS等の脆弱性対策

OSやインターネット等の外部ネットワークからアクセス可能な機器(ルータ、VPN機器等)は最新の状態に更新

### ◆ 電子メールへの警戒

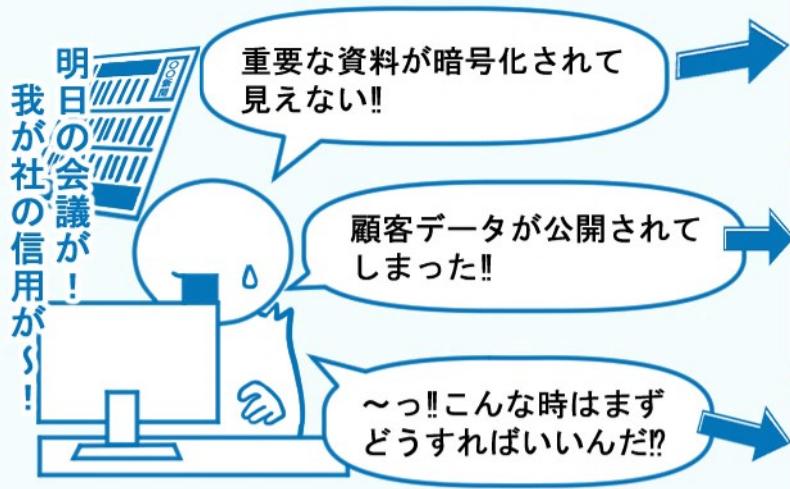
### ◆ ウイルス対策ソフトの導入

### ◆ 認証情報の適切な管理

パスワードは、推測されにくい文字列を設定  
2要素認証等による強固な認証手段の導入



## 被害を軽減するために



### データを定期的にバックアップ

バックアップはなるべくこまめに取得し、ネットワークから切り離して保管する。

### アクセス権等の権限の最小化

公開された場合、実際に支障が生じる機微なデータや個人情報等に対して、特別なアクセス制御や暗号化を実施する。

### もしもの時の復旧計画を策定

システムの再構築を含む復旧計画を策定しておく。

被害に遭われた際は、最寄りの警察署にご相談下さい。

徳島県警察本部サイバー犯罪対策室

☎ (088)622-3101 <https://www.police.pref.tokushima.jp>